http://www.coindesk.com/peter-thiel-claims-bitcoin-potential-change-world/

# ピーター・ティール：ビットコインは世界を変える可能性を持っている

[Jon Southurst](http://www.coindesk.com/author/jon-southurst/) ([@southtopia)](http://www.twitter.com/southtopia) | 2013年11月15日 10:55 GMT付 | [ニュース](http://www.coindesk.com/news/)

[inShare](javascript:void(0);)28



ペイパルの創立者であり、シリコンバレーで名が知れた投資家であるピーター・ティールは、ビットコインは世界の金融市場において非常に大きな影響力を持つはずだ、と語りました。

先週開催されたThiel Foundation Under 20 Summitにて、ティールは1999年に講演を行った際、国家による貨幣主導が終了し、暗号化を施した通貨が「世界を変革する」と述べた、[と語って](http://www.appstorechronicle.com/2013/11/exclusive-peter-thiel-bitcoin.html#ixzz2kgFezCi3)います。「ビットコインは、そこで話した内容を実現する可能性を持った最初のツールの一つだと考えているよ。」彼は付け加えています。

ティールは、ビットコイン懐疑派の意見：「まがいものだ」「バブルにすぎない」「何も実体がない」は、アメリカドルについて皆が口にする意見と同じである、と語っています。

「金銭とは永久に生まれ続けるあぶくだと、捉えて考えてみる価値はあると思う。ビットコインが新しい通貨として普及する可能性は確かに存在するよ。」彼はさらに述べています。

ティールはデジタル通貨について常にこれほど楽観的だったわけではありません。実際には、彼はビットコインの将来性についてはあまり自信を持っていませんでした。

彼が主催するベンチャーキャピタル企業、Founder’s Fundは2013年3月に200万ドル[の投資をBitPayに行っています。](http://www.coindesk.com/peter-thiel-founders-fund-lead-2m-funding-round-in-bitpay/) 対照的に、同じ週にDwollaとMt. Goxの資金がDHSによって [差し押さえられています](http://www.coindesk.com/why-are-the-feds-seizing-mt-gox-and-dwolla-funds/) 。しかし、彼は個人的には [less sanguineあまり積極的でなく、](http://www.coindesk.com/figures-come-out-for-against-bitcoin/)ドイツの[聴衆](http://translate.google.com/translate?sl=auto&amp;tl=en&amp;js=n&amp;prev=_t&amp;hl=nl&amp;ie=UTF-8&amp;u=http%3A%2F%2Fwww.gruenderszene.de%2Fallgemein%2Fpeter-thiel-bitcoin) と [記者](http://translate.google.com/translate?hl=en&amp;sl=de&amp;tl=en&amp;prev=_dd&amp;u=http%3A%2F%2Fbitcoinsberlin.com%2Fevent-mit-peter-thiel-und-dr-philipp-rosler%2F) に対しては、ビットコインが長期的に成功を収める見込みは20%しかない、と語っています。

ビットコイン業界では、誰かがビットコイン関連企業に大規模な投資を行いながら、将来性を少しでも疑うなどということはほとんどありません。一体彼は何を躊躇しているのでしょう？

どうやら、ビットコインの目指すものや本質的な価値を問題としているわけではなさそうです。匿名性のおかげで、政府から目をつけられるのではないか、というのが原因です。最近の会議にて、ティールはこの件についてもう少し踏み込んだ意見を出しました。彼の発言です：

「それでも、注意しなければいけない点がある。 私が知る限りにおいては、ビットコインは投機と非合法活動に使用されている。違法な支払に使われているおかげで、長い間にわたってますます詳細に詮索され続けるかもしれない。」

彼は2000年にペイパル上でe-goldを許可した経験を引き合いに出しています。本物の金を担保に認証を発行し、匿名の支払に使えるようにしたものです。e-goldの主な利用方法がクレジットカード詐欺だったことを発見し、彼はたった3ヶ月後にe-goldをペイパルから削除します。（後に彼は名誉毀損で訴えられ、ワイヤード誌の取材に応じてe-goldについての意見を披露しています。）

e-goldは [その後閉鎖されました。](https://egoldclaimsprocess.com/frequentlyaskedquestions.aspx) コロンビア特別区（ワシントンD.C.）において、2008年に非合法の送金ビジネスと認定されたからです。e-goldのCEO、Douglas Jacksonは200ドルの罰金と自宅待機に罰せられ、彼が持っていた貴重な希少金属の資産は9000万ドルに現金化されました。ビットコインについて反対論者が語るとき、彼らはよくe-gold、goldmoney.com、e-Bullionなどの企業が起こした非合法活動や規制問題などの悲惨な例を挙げます。

ティール自身も政府に対してはほとんど良い意見を持っておらず、他の代理通貨に対して政府がどう関わってきたかの歴史を振り返って、匿名のデジタル通貨に対して慎重な姿勢をとっているようです。最近の会議で、彼はこう述べています：

「そういうわけで、ビットコインのようなものについては非常に複雑な政治的状況が関わる、と考えているんだ。 つまり、現時点で閉鎖されていないからといって、優秀な政府は非合法活動には非常に素早く反応するはずだから大丈夫だ、と考えていいのだろうか？ということだ。

この国にはそんな政府は存在しない。だから、この先の将来において閉鎖は起こらない、と信じられる根拠は何もない。だからこそ、私は疑問を呈しているわけだが、同時に（ビットコインは）非常に興味深いとも感じているよ。」

ドイツ出身のティールは自由主義に根ざした発言を行ったり、自身の資産を用いて自由主義を支援していることで知られています。彼はPatri Freidmanの [Seasteading Institute](http://www.seasteading.org/)に10万ドル台の投資を行っており、この組織は、国家の干渉を受けない共同体を海洋に人工的に作り上げる研究を続けています。彼が設立した [Thiel Fellowship](http://www.thielfellowship.org/) （補助金制度）は毎年20歳未満の20人に対して、起業家を目指すために大学を中退した場合は、年間10万ドルを支援しています。

紙幣ベースの通貨がいかに本質的に脆いかコメントを繰り返すことで、彼は国家主権主義反対の姿勢を打ち出しており、 [ペイパルの創立動機](http://www.reddit.com/r/Bitcoin/comments/1mow5j/bitcoin_is_what_peter_thiel_wanted_paypal_to_be/) が通貨を国家の干渉から解放することだったことを認めています。

「ペイパルは世界中の人々に、自分達の通貨をかつてなく自由に扱えるようにできるはずだ。腐敗した政府が民衆から昔ながらの方法を通じて富を収奪するのはほぼ不可能になる。そうなった場合は、人々は価値のない自国通貨を捨てて、より安全なドルやポンドや円に通貨を切替えるからだ」彼はこう語っています。